

富士山クラブ西白塚協定林  
周辺森林のナラ枯れ被害

認定特定非営利活動法人富士山クラブ NPO法人富士山ホシガラスの会

令和6年度

## 目次

はじめに	1
2006年～2008年の調査 樹種と標高別記録数	2
西白塚協定林周辺の巨木分布	3
協定林周辺のミズナラ調査 2024.10.22	4
調査結果	5
記録写真 1	6
記録写真 2	7
枯死したミズナラ跡の空間	8
2006年の記録(左)と同じ場所で確認した希少植物 (静岡県レッドリスト)	9
あとがき	10

## はじめに

2005年から2013年までの富士山南面森林調査プロジェクトでは富士山南斜面の標高1,000mから1,700mまでの天然林、約11km<sup>2</sup>を調査し、26種1,600本以上の巨木を記録した。その中で最も多かった樹種がミズナラであった。(P2 樹種と標高別記録数参照)

2019年に富士山国有林南西斜面のミズナラにナラ枯れ被害が確認され、翌年には全域に被害が拡大した。西白塚周辺の遊歩道沿い、西白塚山頂の御神木もカシノナガキクイムシの穿入が確認され、協定林のシンボルツリーであったミズナラも枯死、2022年に倒壊という経過を辿った。(2023年度 報告書参照)

富士山ホシガラスの会が続けている国有林南東斜面(御殿場市区域)のナラ枯れ被害の経過観察では、被害が標高1500m以上まで広がっていることが確認されている。

富士山クラブ西白塚協定林森づくり協働事業として、協定林周辺のミズナラの巨木を調査し、国有林南西側のナラ枯れ被害の拡大状況を確認することで、富士山ホシガラスの会による国有林南東側の調査と合わせて国有林南斜面全域の被害状況の実態を明らかにし、協定林のミズナラ倒壊空間のモニタリングと共に富士山の森林保全のための資料としたい。

また、富士山南面森林調査プロジェクトで調査した希少種の記録を基にニホンジカの食圧による被害の実態も合わせて調査することとした。

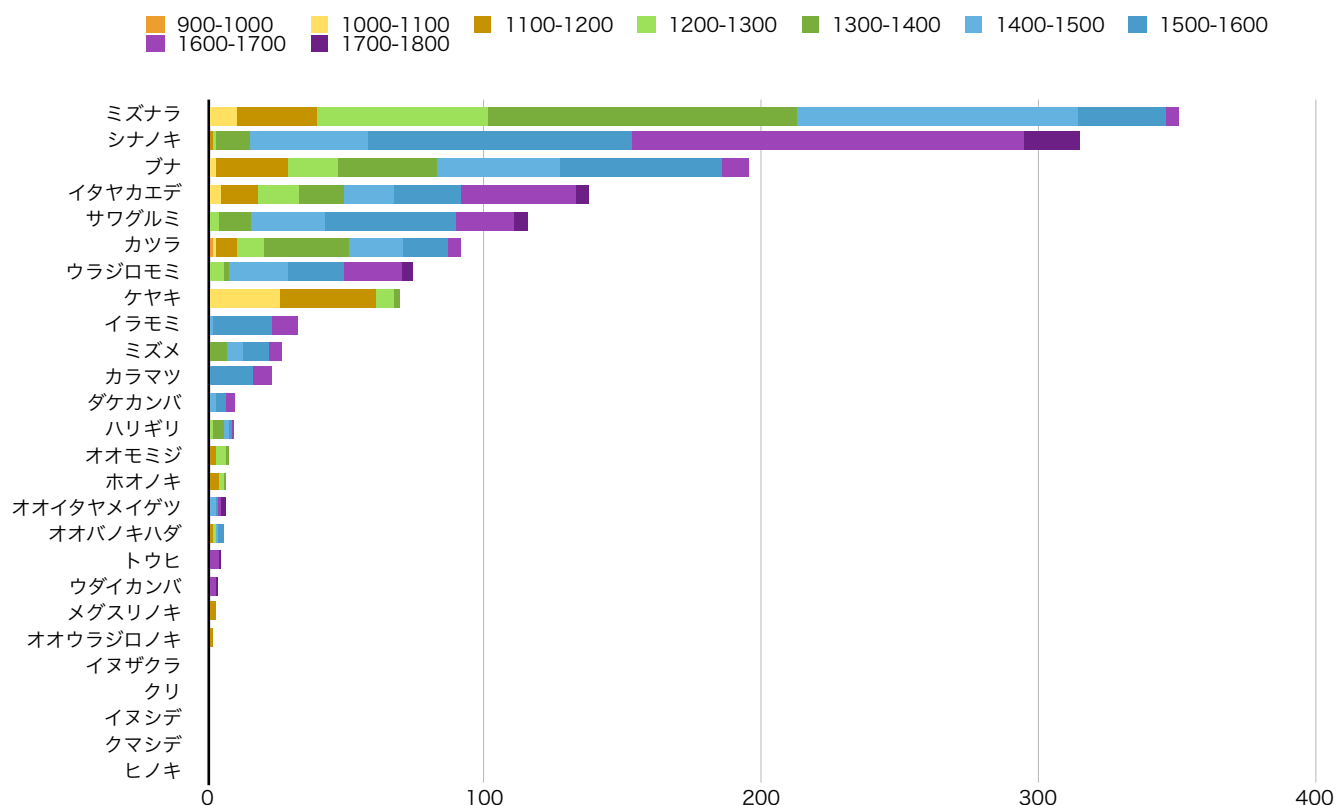


西白塚協定林上空より

## 2005年～2013年の森林調査による樹種と標高別記録数

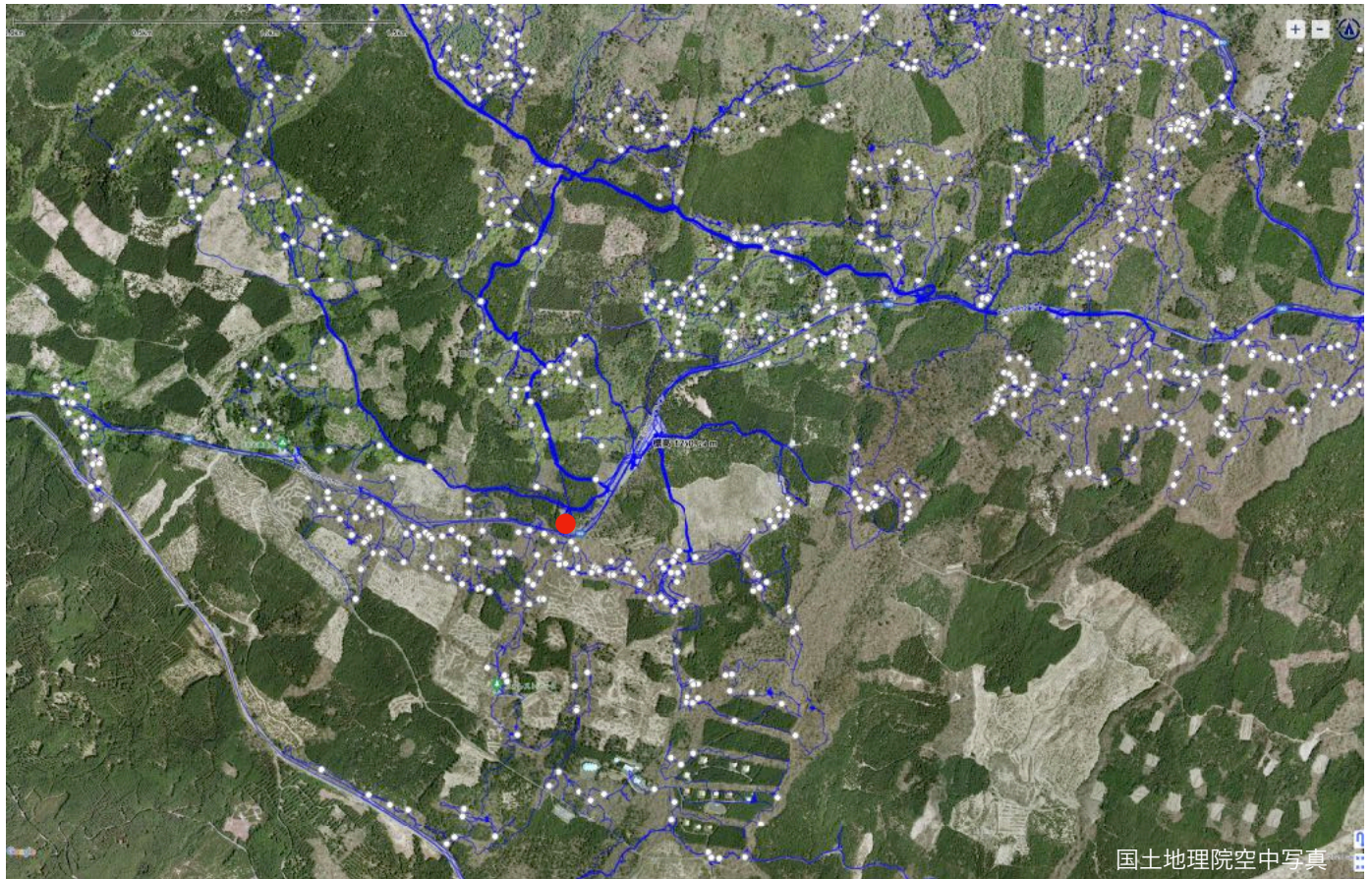
全記録1,661本から幹回りが300cm以下の参考記録と立ち枯れ、倒木などを除く  
(富士山南面森林保全プロジェクト報告書より)

	900-1000	1000-1100	1100-1200	1200-1300	1300-1400	1400-1500	1500-1600	1600-1700	1700-1800	合計
ミズナラ	1	10	28	62	112	101	32	5	0	351
シナノキ	0	1	1	1	12	43	95	142	20	315
ブナ	0	3	26	18	36	44	59	10	0	196
イタヤカエデ	0	5	13	15	16	18	24	42	5	138
サワグルミ	0	1	0	3	11	27	48	21	5	116
カツラ	2	1	8	9	31	19	17	4	0	91
ウラジロモミ	0	0	0	6	2	21	27	21	4	81
ケヤキ	0	26	35	6	2	0	0	0	0	69
イラモミ	0	0	0	0	0	2	21	10	0	33
ミズメ	0	0	0	0	7	5	10	5	0	27
カラマツ	0	0	0	0	0	1	15	7	0	23
ダケカンバ	0	0	0	0	1	2	4	3	0	10
ハリギリ	0	1	0	1	4	2	1	1	0	10
オオモミジ	0	1	2	4	1	0	0	0	0	8
ホオノキ	0	0	4	2	1	0	0	0	0	7
オオイタヤメイゲツ	0	0	0	0	0	3	1	1	2	7
オオバノキハダ	0	0	2	1	0	1	2	0	0	6
トウヒ	0	0	0	0	0	0	1	3	1	5
ウダイカンバ	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4
メグスリノキ	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
オオウラジロノキ	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
イヌザクラ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
クリ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
イヌシデ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
クマシデ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
ヒノキ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	3	51	123	129	237	289	360	277	38	1507



# 西白塚協定林周辺の巨木分布

## 赤丸が協定林のミズナラ(調査番号 09-11-14-01)

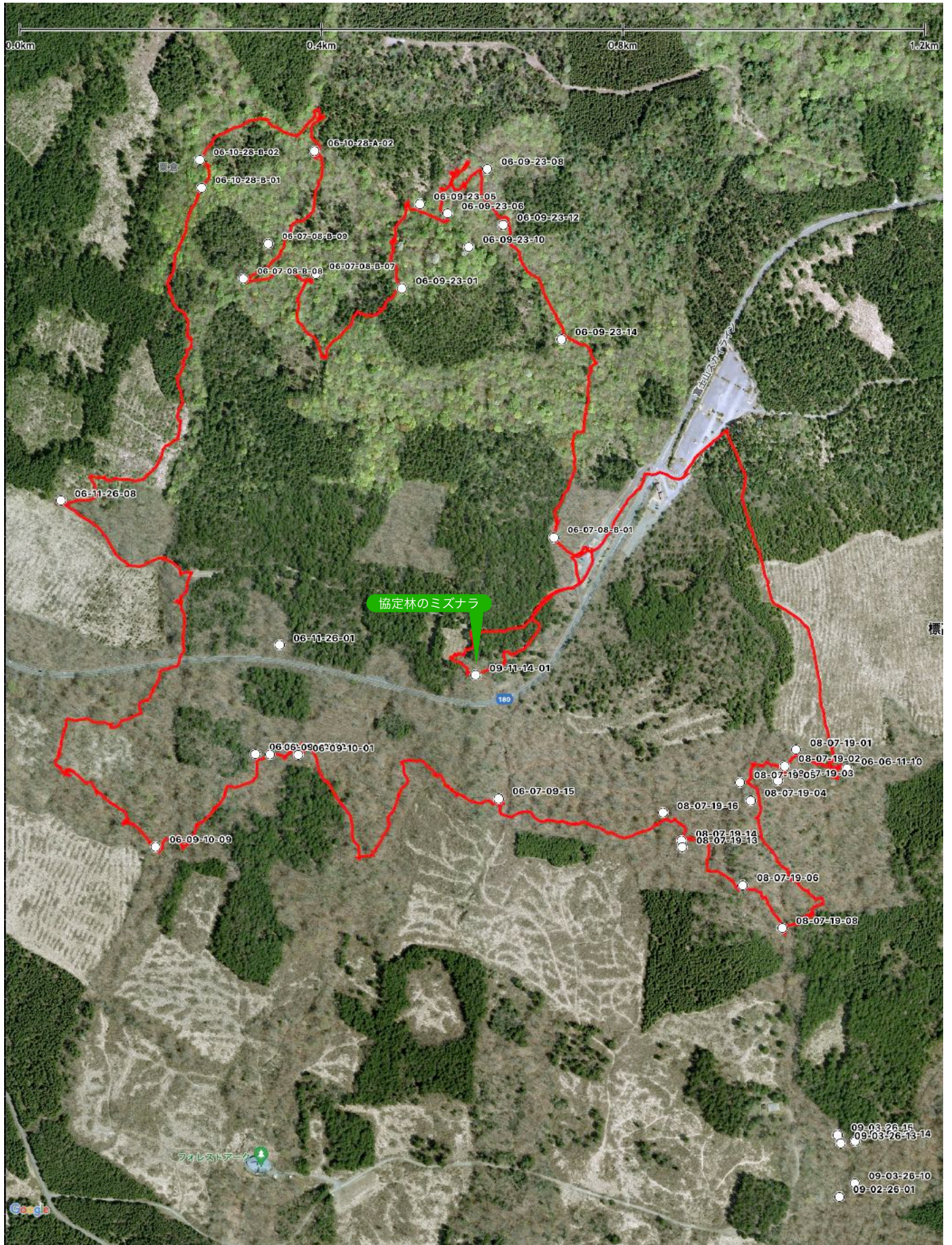


国土地理院空中写真

富士山南面巨木データベース	
調査番号	09-11-14-01
樹種	ミズナラ
調査月	
幹周り(cm)	526
樹高(m)	23
樹冠・東(m)	7
樹冠・西(m)	8
樹冠・南(m)	13
樹冠・北(m)	10
空河	地上からの高さ(m) 0
方角	南
縦(cm)	40
横(cm)	25
奥行き(cm)	10
	<input type="checkbox"/> 複数あり
樹勢	<input type="checkbox"/> 立枯れ <input type="checkbox"/> 倒木 <input type="checkbox"/> 切り株 <input type="checkbox"/> さのこ 樹齡
位置	北緯 035°17'41"9 東経 138°42'48"9 標高 1,220 標高域 1200-1300m 林班 行政区 富士宮市
地面の傾斜・方角	地面の傾斜・方位(度)
床の状態	<input checked="" type="checkbox"/> 腐葉土 <input type="checkbox"/> 火山灰(砂) <input type="checkbox"/> 火山礫(小石) <input type="checkbox"/> 礫岩流 <input type="checkbox"/> 堆積土
苔	<input type="checkbox"/> 無し 高さ(cm) <input type="checkbox"/> 密生 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 疎ら <input type="checkbox"/> 矮小化 <input type="checkbox"/> 枯れ進行中 <input type="checkbox"/> 枯れ
樹下の草本	アザミ スクズク類 ダイコンソウ ツルシコロネソウ ムラサキクマン ムグラ バライチゴセントウソウ シロヨメナ イマトグサ 希少種
地面・特記事項	
着生	<input checked="" type="checkbox"/> 苔 <input checked="" type="checkbox"/> ミヤマノキシノブ その他 ミヤマトンソバアナゴモ 小木
ツタ	<input type="checkbox"/> イワガラミ <input checked="" type="checkbox"/> ツルマサキ <input type="checkbox"/> ツルアジサイ <input type="checkbox"/> サルナシ <input type="checkbox"/> ツルウメモドキ <input type="checkbox"/> 不明・その他
動物の痕跡	<input type="checkbox"/> 食痕 <input type="checkbox"/> 熊・爪痕 <input type="checkbox"/> 熊相
樹木・特記事項	東と西に板根あり。
幹・枝	3m高で南へ枝。北東の枝折れる。5-6m高で四方に幹分かれ。5m幹分かれから不定根。
備考	森林調査体験会にて 記録補充 富士山クラブ協定林



# 協定林周辺のミズナラ調査 2024.10.22



国土地理院空中写真

## 令和6年度 西白塚富士山クラブ協定林周辺のナラ枯れ調査結果

2006年～2009年 富士山クラブ森林調査記録			2024.10.22 富士山ホシガラスの会調査					
調査番号	幹周り cm	樹高 m	変化なし	枯れ(%)	枯れ	倒壊	伐採	備考
09-11-14-01	526	23			○	○		協定林
06-07-08-B-01	319	20			○	○		遊歩道
06-07-08-B-07	436	20			○		○	
06-07-08-B-08	461	18			○			
06-07-08-B-09	397	19			○	○		
06-07-09-15	298	18			○			
06-09-10-01	312	25			○			
06-09-10-02	454	21			○			
06-09-10-03	471	18			○			
06-09-10-09	402	24		90				
06-09-23-01	400	20			○			
06-09-23-05	388	14			○			
06-09-23-06	436	17	○					
06-09-23-08	322	16			○			
06-09-23-12	346	15			○			
06-09-23-14	370	17			○			
06-10-28-A-02	368	15	○	50				
06-10-28-B-01	485	21			○			
06-10-28-B-02	345	22		50				
06-11-26-08	329	18			○			
08-07-19-01	320	17			○			
08-07-19-02	593	25			○			
08-07-19-03	422	25			○			
08-07-19-04	368	20			○	○		
08-07-19-05	395	22			○			
08-07-19-06	364	18			○			
08-07-19-08	371	16			○	○		
08-07-19-13	415	14			○			
08-07-19-14	536	19			○			
08-07-19-16	485	17			○			

# 記録写真 1



大宮林道の旧遊歩道(オリエンテーリングコース)と立枯れたミズナラ(06-11-26-08)



09-11-14-01



06-07-08-B-01



06-07-08-B-07



06-07-08-B-08



06-07-08-B-09



06-07-09-15



06-09-10-01



06-09-10-02



06-09-10-03



06-09-10-09



06-09-23-01



06-09-23-05



06-09-23-06



06-09-23-08



06-09-23-12



## 記録写真 2



2008年



2020年



2024年

旧「県営山の村遊歩道」沿い 幹周り593cmの巨木(08-07-19-02)



06-09-23-14



06-10-28-A-02



06-10-28-B-01



06-10-28-B-02



06-11-26-08



08-07-19-01



08-07-19-02



08-07-19-03



08-07-19-04



08-07-19-05



08-07-19-06



08-07-19-08



08-07-19-13



08-07-19-14



08-07-19-16

## 枯死したミズナラ跡の空間



遊歩道に近いため伐採されたと思われる幹周り4m36cmのミズナラ(06-07-08-B-07)跡地には大きな空間ができていたが、ここでは更新木が見られない。

2006年の記録(左)と同じ場所で確認した希少植物 (静岡県レッドリスト)



スギラン (シダ類) 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 着生木(ミズナラ)立ち枯れ



タテヤマギク (キク科) 準絶滅危惧(NT) 株数は変化なし



マネキグサ (シソ科) 準絶滅危惧(NT) 株数は変化なし

上記の他に協定林内および西白塚駐車場周辺で、準絶滅危惧(NT)のサンショウバラを複数記録した。調査区域で過去に記録した準絶滅危惧(NT)のアオホオズキは今回の調査では確認できなかった。

## あとかぎ

ナラ枯れ進行の初期に「ミズナラの巨木はおそらく全滅するでしょう(神戸大学大学院 黒田慶子教授)」と懸念されたとおり、今回の調査で90%のミズナラの巨木が枯死したことが確認された。

調査区域の希少種はニホンジカによる林床植物の貧相化にもかかわらず、タテヤマギクとマネキグサが18年前と同じ場所で確認された。おそらくヤマシャクヤク、シロヨメナのようにニホンジカが好まない植物なのではないかと思われる。希少性が高いスギランが着生しているミズナラはナラ枯れのため間もなく倒壊し、スギランも失われるであろう。

調査区域の中で、1996年の風倒被害跡の森づくりでパッチ植栽法(渡邊定元博士)により植樹された場所は自然に近い森へと成長したのが確認できた。(写真)



NPO法人富士山ホシガラスの会  
〒412-0006 静岡県御殿場市中畑1691-14  
TEL 0550-89-6905 FAX0550-73-0434  
ホームページ <http://hosigarasu.org>  
Eメール [fujisan@hosigarasu.org](mailto:fujisan@hosigarasu.org)